

'24.1.29
第47号

■発行責任者
月潟コミュニティ協議会
会長 金子 周永
新潟市南区月潟 535 番地
TEL. 372-6905

月潟コミュニティ協議会会報

月コミ通信

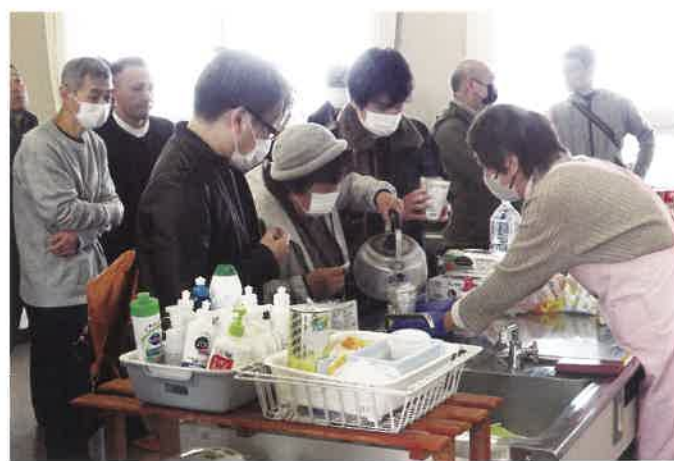


防災訓練

11月19日(日)、月潟中学校で各自治会(防災会)や中学生など110名が参加して防災訓練を開催しました。数年ぶりの訓練形式で、防災士の協力を得ての実施となりました。

避難所受付体験・備蓄物品による体験・炊き出し体験を、順番に参加者の皆さんに体験していただきました。訓練後のアンケートでは、貴重なご意見が寄せられましたので、今後の訓練や避難所の運営資料の整備に役立てていきたいと思ひます。

協力いただいた食生活推進委員、中学生の皆さんありがとうございました。



新年のごあいさつ

月潟コミュニティ協議会

会長 金子 周永

新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和2年から続いたコロナ感染症は、昨年、2類から5類感染症に変更になり、以前の活気もどってきました。コミュニティ協議会におきまし

ても計画しました各種事業は地域の皆様方のご協力をいただき、予定通り実施することができましたことに感謝申し上げます。

新しい年においては従来の事業に加え、「地域防災」や「支え合いのしくみづくり」など身近な課題がありますが、「安心して暮らすことができる地域づくり」を目標に皆様とともに考えてまいりたいと思ひます。

今年も引き続きコミュニティ協議会にご支援ご協力をお願いするとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

令和5年度 月潟地区コミュニティ懇談会 (区長と語る会)

◆開催日時: 令和5年8月19日(土) 15:00~17:10

◆開催会場: 月潟地区公民館 2F大会議室



〈質疑概要〉

宅地や農地の放置された雑草や雑木の管理について

発言 高齢者世帯の庭が藪になっているから何とかしてほしいと相談がある。
当該世帯にお願いしても、高齢で労力がないことや年金暮らしなどの話をされるとそれ以上のことは言えなくなり、自治会で草を刈ったことがあった。
こういう場合、自治会でどう対応すればよいのか教えてほしい。

回答 所有者に適切な管理責務がありますので、市としては所有者に適正な管理をするよう助言・指導を行っています。
令和5年の民法改正により、隣地から伸びてきた枝などの処理を所有者が対応してくれない場合、代わりに処理をして掛かった経費を相手に請求できるようになりましたが、処理した後の費用負担をどうするかなどの問題も出てきます。
具体的に困っている状況がある場合、まずは区民生活課にご相談いただきたいと思います。

交通インフラと人口減少の歯止めについて

発言 全国的なドライバー不足の問題もあり、新潟交通の減便と運賃の値上げがあった。
ある程度新潟交通に委ねることは必要だと思うが、人口減少により今後成り立たなくなると思うので、区バスや住民バスを拡充することを検討できないものか。

回答 新潟交通の減便により、白根中心部から新津に行く土曜日のバスがなくなっていました。
運転士不足が影響しているなかで、今すぐ区バスの路線を拡充することは難しい状況だと感じています。

発言 公共施設の再編により、廃止した施設を利用したパークアンドライドを検討してはどうか。

回答 過去南区においても国道8号のスーパーなどを活用したパークアンドライドを実施しましたが、車と路線バスの組み合わせではメリットがなく廃止した経緯があります。
渋滞がなく時間的メリットがある高速バスやJRと組み合わせるのがパークアンドライドだと過去の経緯から感じています。

市街化調整区域における開発行為などについて

発言 平成23年に全市一つの線引き都市計画区域に見直され、月潟全域は市街化調整区域になったことで、今後一切開発ができないと受け止めている方がいる。
市街化調整区域での開発許可制度や要件緩和措置について教えてほしい。

回答 都市計画を定め、引き続き開発ができる市街化区域と開発を抑制する市街化調整区域とに線引きし、開発許可制度を運用しています。
市街化調整区域は、地元の方は住宅が建てられますが、集落外の方は建てられないという課題があったことから、既存集落区域を設定して、合併前と同じように集落外の方でも建てられるように緩和する条例を制定しました。

市街化調整区域における開発行為などについて（続き）

発言 3000㎡までとか、3000㎡以上の空閑地は手をつけられないことについて教えてほしい。

回答 既存集落区域では、3000㎡未満であれば住宅や店舗兼用住宅、アパートは建てられることになっていますが、住宅が連坦していない3000㎡以上の空き地や畑は条例の対象外となります。
ただ、条例の対象外であってもインフラの整備がクリアできれば別の手法での開発は可能です。

発言 平成23年に線引きの説明会があったが、ほとんどの方は理解できずにいたと思う。あれから10年以上経過しているので改めて説明の機会を設けてほしい。

回答 ご希望があれば説明会を開催しますので、建設課にご相談いただきたいと思います。

両郡橋西詰への接続道路の整備について

発言 合併建設計画で月潟西川線を真つすぐ両郡橋へ向かう道路を出したが、地元の話し合いで既存ルートを使いながら整備することになった。毎年整備は進んでいるが、両郡橋西詰に接続する部分が未着手なので大きな車両が通れない状況になっている。

地籍が西蒲区だから進まないのかと考えるが、整備の促進と現状を教えてほしい。

回答 大別當工区については、今年度も整備を進め令和7年度中に完了する予定です。
その後、西詰への接続箇所の六分工区の進め方について、西蒲区と検討していきます。

月潟デイサービスセンターについて

発言 月潟デイサービスセンターの廃止について、突然6月24日の新潟日報に出た。

8月10日の説明会において、味方と月潟のデイサービスセンターをそれぞれ公募し、味方は社会福祉協議会が引き続き運営するが、月潟はどこからも手があがらなかったとの説明があった。

その際、区としてもうひと努力してほしいとお願いしたが、その後何か進展があったのか教えてほしい。

回答 味方は継続、月潟は継続しないことについて、社会福祉協議会に伺ってきました。

継続できない理由は、ヘルパー事業やデイサービス事業での人材不足とのことで、月潟を継続できないという選択をせざるを得ないということでした。

今後は、施設を廃止し現在の利用者を新たな施設に移っていただくよう進めていきます。

発言 区役所の担当者からは、自治会のお願いごとを一所懸命やっていたらいい。これはお互いの信頼があるからなので、今後とも信頼関係のなかで物事を進めてほしい。

回答 信頼を得られるように取り組んでいきたいと思っています。

アルファ化米について

発言 自治会の防災研修の際、アルファ化米を調理したいので、区役所に備蓄してあるアルファ化米で消費期限が迫っているものがあれば払い下げしてほしい。

回答 対象品があれば声掛けさせていただきます。

月潟農村環境改善センターの備品整備について

発言 今年の月潟まつりでの角兵衛獅子の舞を農村環境改善センターで折りたたみ椅子を並べて行う予定だったが、椅子を結束しないと駄目だということで消防署から許可されなかった。許可されるような安定感のある椅子を整備してほしい。

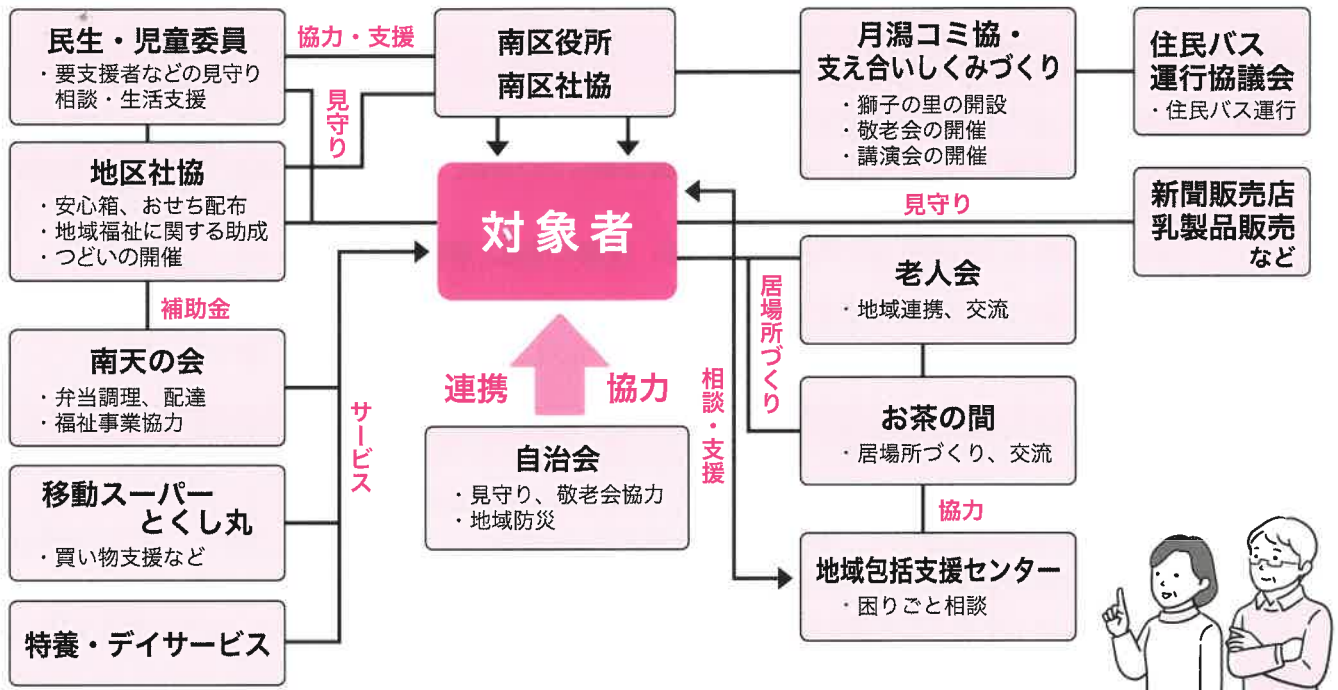
回答 まずは消防署に確認させていただきます。

～月潟圏域支え合いのしくみづくりについて～

第2弾

今回は、支え合いのしくみづくり体制図を使い、地域におけるそれぞれの組織・団体の支え合いのしくみづくりに関する活動をお知らせします。

月潟圏域支え合いのしくみづくり体制図



月潟圏域支え合いのしくみづくり会議で決定したスローガン「月潟のチカラ～お互いさまでつながろう～」は、地域の組織・団体が現状を把握したうえで、互いにできることを行い、つながっていくことです。

しくみづくり体制図で、どんな組織・団体があり、どんな役割を担っているかを皆さんに知ってもらい、関心をもってもらうことが大切です。

地域での取り組みに、幅広い世代の方々から活動へのご協力をお願いします。

組織・団体での活動及び
支え合いのしくみについての
お問い合わせはこちらまで

問合せ先 担当者

生活支援コーディネーター 泉田 めずる
☎ 080-6269-8124 まで

これからの予定

月潟地区講演会

日時：2月18日（日）
午前10時開演
会場：月潟農村環境改善センター
講師：富樫 英樹 様
（開志国際高等学校バスケットボール部総監督）

敬老会

月潟地区敬老会が猛暑も落ち着いた9月30日(土)、月潟農村環境改善センターで開催され、102名の方が元気に参加されました。

式典の後のアトラクションでは、月潟民謡研究会の民謡「相川音頭」「出雲崎おけさ」「七浦甚句」と菘八家五円さんの落語で楽しんでいただきました。

また、月潟保育園の園児さんからいただいた招待者の皆さんへのお祝いのお祝いのメダルを、お一人お一人にお渡ししました。かわいいプレゼント、大変喜んでいただきました。

皆さん、これからもお元気でお過ごしください。



月形町物産販売

北海道月形町との交流事業の一環でもある月形町物産の販売を、6月と9月に行いました。

今年度は、コロナ禍の前と同じく、月潟まつり(6月25日)と大道芸フェスティバル(9月24日)に合わせて実施、トマトジュース「まんまるトマト」とジンギスカンを販売しました。皆様のご協力で、大盛況のうちに終わることができました。ありがとうございました。

なお、トマトジュースはお休み処「獅子の里」でも、常時販売していますのでご利用ください。



月形町町制施行70周年記念式典に出席しました



去る11月2日、友好姉妹町である北海道月形町は昭和28年4月1日に「村」から「町」になって70周年を迎えたことを記念し、式典が行われました。月形町は明治14年に樺戸集治監(刑務所)が設置され、囚人の労力により北海道の開拓が始まった歴史を持っています。この式典ではこれまで月形町発展に寄与された功労者の表彰に併せ、新潟市と合併以前の平成4年から30年以上にわたり友好姉妹町村として交流を続けている「月潟地区」が招待され感謝状が贈られました。また、月形町の名前の由来となった樺戸集治監初代典獄(刑務所長)である「月形 潔氏」の出身地である福

岡県中間市の関係者の方にも感謝状が贈られました。

これからも、物産交流を中心に交流を続けていきたいと思ひます。

コミュニティ協議会・地区公民館 共催事業

伝統文化継承事業（お正月飾り作り）

令和5年12月9日（土）お正月飾り作り講座を開催しました。今回も、月潟親善大使の増子ゆかりさんをお迎えし、樹脂粘土で干支飾りを作りました。

干支の中で唯一想像上の動物であり、一見難しい感じがありましたが『運気の上昇』を願い、今にも飛び出しそうな見事な辰ができました。



令和6年元旦マラソン大会

『第42回月潟地区元旦マラソン大会』を行いました。当日は、昨年とは異なり暖冬で積雪もなく、ベストなコンディションで行うことができました。

総勢70名が2km・4kmコースを、龍のごとく勢い良く町内を駆け抜けました。



月潟小学校五年生のお米販売

11月27日（月）月潟小学校の5年生は、月潟商店街ほしのや洋品店前にて、学校田で収穫したお米を販売しました。

今年は、天候の影響で稲刈りを行うことができず田植えだけを行いました。

事前にチラシを配るなど宣伝をし、当日は多くの方が購入してください、100袋用意したお米は、またたくまに完売しました。市の会場に子どもたちの元気の良い声が、賑やかさをよんでくれました。

子どもたちが貴重な体験をできるのも、毎年多くの方々からご協力をいただいているおかげです。ありがとうございました。



増子ゆかりの出張健康トークショー

今年度2回目の健康トークショーのテーマは「むくみ」

10月14日（土）に月潟健康センターで開催しました。

心配のないむくみと、大きな病気が潜むむくみがあることを、増子ゆかりさんと講師の月潟内科クリニックの廣野暁先生の軽妙なトークでわかりやすく知ることができました。

